

# EGGPLANT

エッグプラント  
那須ファミリー  
ホームスクール通信  
2006.3.1  
No.20



三月四日、「ライオンと魔女」の映画が公開されます。この話は我が家で一番人気のお話です。原作者はCSルイス。彼は大学教授ですが、クリスチャン著述家として欧米でとても有名です。あの「指輪物語」を書いたトールキンと友達で、自分たちで作った話を語りあった仲でした。

若いとき無神論者だった彼は、さまざまな経験を通じてキリスト者になり、イエスや聖書のことをわかりやすく解き明かすようになったのです。世界中から愛読者たちが手紙を彼に送りましたが、それに一枚一枚返事を手書きで書いていったというから驚きです。その手紙を集めた「子どもたちの手紙」(新教出版社)の中から引用します。

『本当の(つまりイエス・キリストの)話を象徴によって書くこうと考えたわけではなかったのです。…』もしもナルニアのような国があったとして、その国を救う必要があったとしたら、そして神(海の向こうの大帝)の子が、ちょうどイエスが私たちの救いのために地上に来られたように、ナルニアを救うためにそこを訪れたとしたら、その世界ではどんなことが起こるだろうか?』と考えたわけです。(一部変更)

というわけで、聖書を愛読している私たちにはナルニア国物語から数多くのメッセージを受け取るのです。

あなたは、「ナルニア国物語」の中にもう一つお話しが隠されていることに気づいたそうですね。…子どもはほとんどいつもそれに気づくのですが、大人はだいたい、誰も気がつきません。

「子どもたちへの手紙」より



## 待ちに待った ナルニア物語!

### 那須ファミリー

### ホームスクールの祝福を祈って

### 祖父母

「健康が大切だ。元気なのが一番幸せ。」と言われるのをよく耳にすることがあります。しかし、クリスチャンは健康以上に大切なことに心を留めています。それは神に愛されていることを知ることです。神の恵みによって、私達夫婦も、子どもたちも、孫達も、同じ教会で神様を礼拝できることで喜びであります。

那須ファミリーに恵みよって、男二人、女三人の五人の子どもが与えられています。感謝であります。五人の子を育てた両親は苦勞であったと思います。同時に皆を守ってくださった神様に感謝します。数年前に、私も小学校の授業参観や幼稚園の送り迎え等まだ幼稚園に行かない小さい子の面倒を見る等楽しみにすることもありました。

二〇〇四年三月今から二年前にこれから、子供たちは学校に行かずホームスクールとして家で勉強することを伝えてきました。私達は二人とも驚くばかりで、良いとも悪いとも言うことはできませんでした。クリスチャンは何をするにも自分の思いのままにするのでなく、神の御心を求めて祈りのうちに行うのですから、私達も全てを神にゆだねて祈るだけでした。彼らはホームスクールの大会やいろいろな活動に参加し、あらゆることを学んでいます。これからも応援したいです。

「神を愛する人々、すなわち、神のご計画に従って召された人々のためには、神が全てのことを働かせて益としてくださることを、私たちは知っています。」(ローマ八章二十八節)

### 四月から一番末のRが小学生となりま

すので楽しみにしています。幼稚園にも行っていないけれども、今ひらがな、全部を覚え手紙をもって私達を喜ばせてくれます。

孫達が神の御心のうちを歩み、成長できるようにお祈りしています。



「こんなことしました！」 行事報告

二月

- 一日 N 誕生日
- 三日 住まいのミュージアム
- 十一日 大阪感動探検隊（大阪「食」探検隊二回目）
- 十八日 〃（三回目）
- 二十一日 関西ホームスクーラーの集い
- 二十五日 大阪感動探検隊（大阪「食」探検隊四回目）
- 二十六日 空手冬季昇級審査
- 二十七日 国立民族学博物館（ホームスクーラーと）

Eの読書コーナー

「フランダースの犬」

ヴィーダ作

ぼくは、「フランダースの犬」を読みました。フランダースの犬の主人公の名前は、ネルロという人です。そのともだちをアロアといい、ネルロのおじいさんの名前をダースといいます。ネルロがさいごまで見たがったルーベンスの二組の「十字架をたてる」「十字かからおろす」のしやしんものっていました。

作者は、ヴィーダといいます。犬やねこにかこまれた一生だったといわれています。そのお話は、かなしいお話ですがとてもいいお話です。絵もとてもきれいです。これから他の名作シリーズも紹介していきます。

編集後記

この通信も二十号を迎えることができました。みなさまからの暖かい励ましを感謝いたします。そして、今回はおじいちゃんのお登壇です。おじいちゃんの方から投稿を希望されました。いろいろな人を心配させてしまいましたが、ホームスクール二年間は、本当に充実していました。他の方も投稿歓迎いたします。



万里の長城です！



住まいのミュージアムで、昔の薬やさん体験中

模型で世界旅行！

M

今日僕は世界旅行に行きました。世界旅行といっても飛行機に乗ったわけではありません。パンフレットには添乗員はいないし、所要時間は約三十分と書かれていました。ぼくは模型で世界旅行に行ったのです。

民族学博物館（みんぱく）では今日まで「（模型で）世界旅行」という企画展をやっている、世界各地の風景を模型で再現していました。

僕が四十個ぐらいの模型のなかで、一番すごいと思ったのは世界三大瀑布のひとつ「ヴィクトリアの滝」でした。波しぶきを綿を使って表現し、ゆったりと流れる河が巨大な地割れにでくわして、一気に落ちる絶景を見事に再現していました。どのようにこんなものを作ることができるのか不思議でたまりませんでした。

「セレンゲティ国立公園」の模型でシマウマの群れが、縞がちゃんと細かく描かれていました。解説によるとつまようじに絵の具をつけて描いたらいいです。どのように作ったのかを紹介するコーナーもあり、どんぐりを屋根に使ったり、つまようじを柱として使ったりと身近のあるもので、こんなにも再現度の高い模型を作れるのかと思います。

落ちそうで落ちない黄金の岩がある「ゴールドデン・ロック・パゴダ」やパプアニューギニアの「伝説の滝」地形を利用して造られた砦「ベログラドチク遺跡」など、有名なものもありましたが、知らないものがほとんどでした。またひとつ世界のことに知ることができたと思いました。

短かったけども、満喫できた世界旅行でした。ヴィクトリアの滝

